第五講　認識論・現代社会論

左の文章を読んで後の設問に答えよ。

空間的に自分が「どこにいるか」ということは比較的簡単に分かります。しかし、時間の流れの中のどこに自分はいるのか、ということは、A「勉強」しないと分かりません。

時間の流れの中で自分を位置づけること、それが「歴史的なものの見方」というものです。マルクス[注1]主義以来、これが「思考すること」の基本とされています。

たとえば、自分たちの世代を含んだ日本の戦後の文化とか、明治以降の文化や日本の近代以降の中で自分はどういうポジションにいるのか、そういうことを考えるのが、歴史的な発想法です。でも、そういう視点を取る人は、B意外に少ないのです。

ぼくはよく「Cマッピング」ということばを使います。

「マッピング」というのは「地図上のどの点に自分がいるかを特定すること」という意味です。地図の中のどこに自分がいるかということは、「今・ここ・私」を中心にしている限り、絶対に分かりません。当然ですけど。

だって、そうでしょ。「地図を見る」というのは、とりあえず、「今・ここ・自分」をかっこに入れて、そこから想像的に遊離して、上空に仮設した「鳥の眼」から見下ろす、ということなんですから。

想像的に視点を自分から離脱させてみる。視座をどんどん遠方にずらせば、遠方から「自分を含んだ風景」を見ることができる。自分自身を含んだ大きな風景を、都市を、大陸を、地球を、想像できる。高度を上げられる人ほど自分の空間的な位置取りについて、より多くの情報を手に入れることができます。

これが空間的なマッピングです。時間の流れの中のマッピングも原理的には同じことです。

自分がどんなふうに形成されてきたのかを見る、ということです。

自分の家庭や会社や共同体、その網目のどこに自分がいて、どのような機能を果たしているのか。どういう要素の複合効果として自分は出現してきたのか。条件がどういうふうに変われば自分は「消え去る」のか。そういうことを考えるのが「時間的マッ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ピング」です。

自分の「前史」を見通すということですね。

今の自分のものの見方や考え方を絶対視する人とは、要するに「マッピング」する知的習慣を持っていない人のことです。「私は私だ」「オレにはオレのやり方があるんだ」という言い方をよく耳にしますが、こういうことを言う人はあまり頭がよくないと判じて構いません。だって、その人の言う「オレ」の構成要素のほとんどは歴史的に「作られたもの」なんですから。その人とまったく同じような「オレ」がこの人の同世代、同地域には掃いて捨てるほどいるということに、この「オレ」さまはまるで気がついていないのです。

「オレはオレだ」と威張っている限り、自分のものの見方が形成された「前史」を知ることはできません。一人で腕組みして、うんうん内省してみても、自分の「前史」は知ることができない。

これはもう「勉強」するしかないのです。

「自分の個性を知る」というのは、「個性的な作品」を作り出すというようなことではありません。

それを勘違いしている若い人が多すぎます。

「自分の個性を知る」というのは、ほんらい[D]「消去法」的な作業なんです。

自分たちの生きている社会の成り立ちを「勉強」することによって、ある世代、ある地域集団の全体にのしかかっている「大気圧」を認識できた人間だけが、それを控除した後になお残っているものを、自分の「個性」として認知できるのです。

もし「個性」というものがほんとうに発見され表現されるべきものだと思うのなら、自分の記憶の中にある偽造され外部から「事後的に」注入された部分を選(え)り出し、除去してゆくという作業が必要になるでしょう。「ビートルズ世代」としてビートルズを聴いて、「全共闘世代」[注2]として学園闘争を戦ったというふうに「偽りの記憶」を内面化させた同時代人をぼくは何人も知っています。彼らはリアルタイムではビートルズなんか聴いてなかったし、学園闘争にも背を向けていた。しかし、その事実は忘れられ、より快適な「共同的記憶」が彼らの自己史には採用されている。もし、この人たちがほんとうに個性的であろうとしたら、共同的な「模造記憶」からではなく、彼らが少年だった頃に、誰とも共有できず、誰にも承認されなかった彼らの内密で、ユニークな幻想や情念を記述するところから始めるべきでしょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

すべての世代はその世代に固有の「正史」を持っています。それはたとえば、流行した音楽やＴＶの人気番組やマンガや映画の記憶です。「おお、あれな、オレも毎週見てたよ」というふうにして同世代の宴会は盛り上がるわけですが、この「おお、オレも」の相当部分は（たぶんお気づきでしょうが）かなり誇張されています。（ほんとうは「毎週」ではなく「たまに」だったり、あるいは「ぜんぜん」だったり）。

　でもこのわずかな（あるいは大幅な）誇張によって「オレたち」という記憶の共同体に「オレ」は[E]住民登録できるわけです。でも、個性的であるというのは、「記憶の共同体」への住民登録を求めないということです。頭にぎっしり詰め込まれた「偽造された共同的記憶」を振り払い、誰にも共有されなかった思考、誰にも言えなかった欲望、一度もことばにできなかった心的過程を拾い集める、ということです。

　これは徹底的に知的な営みです。メディアでは人々が「個性的に」ということを実にお気楽に口にしていますが、「個性的である」というのは、ある意味で、とてもきついことです。誰からも承認されないし、誰からも尊敬されないし、誰からも愛されない。そのことを覚悟した人間だけが「個性的であること」に賭金（かけきん）を置けるのですから。

　そんなことができる人間はほんとうに少数です。ですから、[F]ほんとうに個性的な人間というのは「オレは個性的な人間だ」と思い込んでいる人間の数の千分の一もいないのです。

（内田樹（うちだたつる）『疲れすぎて眠れぬ夜のために』による）

（注）１　マルクス主義――マルクスとエンゲルスにより確立された思想体系。
　　　２　全共闘世代――一九六八年以後の大学紛争を経験し、影響を受けた世代。

問１　傍線部Ａについて。「勉強」するとはどういうことか。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。

①　マルクス主義的な思考を実践すること
②　前史を見通し、自分の場所を特定すること
③　歴史的な出来事をよく理解すること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　想像的に自分の視点から離脱すること
⑤　自分だけのものの見方を形成すること

問２　傍線部Bについて。なぜそういう視点を取らない人が多いのか。句読点とも十五字以内で記せ。

問３　傍線部Cについて。筆者はこれをどんなことだと考えているか。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。
①　自分の来し方を思い、視点を仮設し自分を見下ろすこと
②　自分が地図上のどの点に位置するのか特定すること
③　自分というものを遠くから客観的にながめること
④　自分がどうすれば消え去ることになるか考えること
⑤　自分のものの見方の形成過程について内省すること

問４　傍線部Dについて。これは具体的にどのような作業か。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。
①　社会からの圧力を意識し、それを控除すること
②　社会の中で自分の存在が不要になる瞬間を知ること
③　他人との比較の中で自分の個性を浮かびあがらせること
④　自分と世界との関係を構築し直すこと
⑤　歴史の中から自分と無関係の事実を消していくこと

問５　傍線部Eについて。その説明として最も適当なもの一つを、左記各項の中から選び、番号で答えよ。
①　偽りの記憶を正確なものにすること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②「オレたち」という幻想の中に紛れ込むこと
③どの世代にも共通する事象を発見すること
④メディアによってつくられた現象を誇張すること
⑤共有された記憶から個性的な記憶を模造すること

問6　傍線部Fについて。これはどのような人間か。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。
①一人で徹底的に考え抜く人間
②マッピングをうまく利用できる人間
③誰からも理解されなくても自分を貫く人間
④自分がどのように形成されてきたか意識できる人間
⑤共同的記憶を振り払える人間

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　内田樹＝うちだ　たつる（一九五〇～）哲学者。日比谷高校を中退し、大検を経て、東京大学フランス文学科卒、東京都立大大学院修士課程修了。長く神戸女学院大学で教鞭をとった。近年、入試現代文、小論文にて出題頻度が極めて高い。『私家版・ユダヤ文化論』（小林秀雄賞）『日本辺境論』（二〇一〇年新書大賞）など著書多数

●カール＝マルクス（一八一八～一八八三）ドイツの哲学者、経済学者。資本主義経済を分析し、その矛盾を指摘した『資本論』はあまりに有名。「マルクス経済学」は、ソビエト連邦崩壊以降、魅力と説得力を失っているようですが、社会と人間分析に長けた哲学者マルクスはまだ〝生きている〟と言えそうです

●フリードリッヒ＝エンゲルス（一八二〇～一八九五）ドイツの思想家でマルクスの盟友。『共産党宣言』はマルクスとの共著。マルクスの死後『資本論』の遺稿をまとめて、出版した。エンゲルスの単著としては『空想から科学へ』が有名

語句

遊離＝ゆうり→離れて存在すること。分離すること。この「遊」はあそびにふけるという意味ではなく、家を離れて歩く、行くという意味　（例）遊説（ゆうぜい）（あちこち演説してまわること）、宇宙遊泳（母船から離れた船外活動。あそんでいません。高度なミッションです）

控除＝こうじょ→差し引くこと、取り除くこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）現実からユウ離して思考する　①優　②勇　③遊　④雄　⑤誘

（イ）収入から経費をコウ除する　①項　②公　③控　④興　⑤好

（ウ）カク悟を決めて選択する　①角　②確　③殻　④嚇　⑤覚

（エ）通貨ギ造の罪に問われる　①戯　②偽　③欺　④儀　⑤技

（オ）企業からサイ用通知が届く　①彩　②祭　③裁　④災　⑤採

（カ）モ造された記憶を取り去る　①茂　②喪　③藻　④模　⑤漠

（キ）自分のコ有の経験を語る　①個　②固　③己　④孤　⑤庫

（ク）エン会が大いに盛り上がる　①円　②園　③延　④宴　⑤艶

（ケ）コ張した表現を避ける　①呼　②鼓　③誇　④粉　⑤虎

（コ）会員名簿にトウ録する　①登　②踏　③党　④頭　⑤当

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　認識論・現代社会論

《本文の対比構造》

主役＝筆者の見解

前半
時間的マッピング
歴史的なものの見方

後半
本当に個性的な人間
消去法
「記憶の共同体」に住民登録を求めない

小さな対比

比較相手
空間的マッピング

主な対比

敵役1
「私は私だ」「オレにはオレのやり方があるんだ」
「オレは個性的な人間だ」と思い込んでいる人間

主な対比

敵役2
模造記憶・偽造された共同体的記憶

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問1《傍線部説明・選択肢》

「時間の流れの中のどこに自分はいるのか、ということ」を知るための「勉強」です。筆者のメインメッセージで、「自分がどんなふうに形成されてきたのかを見る」、「自分の『前史』を見通すということ」です。したがって、②の「前史を見通し、自分の場所を特定すること」が正解です。

他を吟味しましょう。①の「マルクス主義的な思考を実践すること」はどうか。間違いではありません。本文には、「時間の流れの中で自分を位置づけること、それが『歴史的なものの見方』というものです。マルクス主義以来、これが『思考すること』の基本」とありますからね。しかし、「マルクス主義的な思考」が、そういう「歴史的なものの見方」であることを、選択肢中で説明しないと十分ではありません。②はそれをしている。さらに、説明を加えると、「マルクス主義的な思考」は、「歴史的なものの見方」そのものではなく、その一つ、あるいはそういう考え方の傾向をつくったきっかけであるにすぎません。やはり内容そのものを語っている②が正解なのです。

③の「歴史的な出来事をよく理解すること」は、文脈喪失の誤りです。「歴史」の「勉強」と言っても、普通の日本史や世界史の勉強じゃありません。一連のナポレオン戦争という出来事についてよく理解するとか、大塩平八郎の乱について理解するのとは違います。文脈では、自分を含む歴史を見るという意味ですからね。

④の「想像的に自分の視点から離脱すること」は、「空間的マッピング」です。時間的・歴史的マッピングの方を答えないとね。はい、対比混乱の誤りです。

⑤は「自分だけのものの見方を形成すること」だって。シラジラシー！　これは肝心な「歴史的なものの見方」という「知的習慣を持っていない人」の態度ですからね。敵役ですよ。はい、典型的な対比混乱の誤りです。

問2《傍線部説明・記述》

「歴史的な発想法」という視点を取る人は「意外に少ない」のはなぜでしょう。対比で考えてみましょう。第一段落に、「空間的に自分が『どこにいるか』ということは比較的簡単に分かります。しかし、時間の流れの中のどこに自分はいるのか、という

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ことは、『勉強』しないと分かりません」とあります。そうです。簡単なら誰でも実践しますが、「勉強」しないといけないから「意外に少ない」のです。課題文の他の箇所でも「これは（自分の「前史」を知るためには）もう『勉強』するしかないのです」とあります。もう一つ、多くの人がやってしまうのは「より快適な『共同的記憶』」を「採用」することです。これを振り払うことは、「徹底的に知的な営み」で「とてもきついこと」なのです。記述解答の三原則は、〝対比の表現〟〝具体例はカット〟〝繰り返される表現は大事〟です。得点になるポイント箇所を挙げます。第一ポイントは、「簡単ではない」です。ここは「とてもきつい」「きつい」「徹底した」などでもOKです。第二ポイントは「勉強」「知的な営み」です。ただし、「勉強」は本文中でカッコを付けられて、特別な意味づけがなされていると考えれば、そのまま使うより「知的な営み」の方がよりよいです。したがって、「勉強」の方は、点にはなりますが、○．五点とします。

問３《傍線部説明・選択肢》

傍線部Cの「マッピング」は、「空間的なマッピング」ではなく「歴史的なものの見方」「時間の流れの中のマッピング」の方です。一般的には地図の中の位置づけを「マッピング」といい、時間的な位置づけについては「マッピング」という表現を使いませんが、筆者はあえて使っているのです。それが傍線部Cを含む「ぼくはよく『マッピング』ということばを使います」という箇所で宣言されています。「自分のものの見方が形成された『前史』を知ること」とも言えます。したがって、⑤の「自分のものの見方の形成過程について内省すること」が正解です。

他の選択肢を吟味してみましょう。②の「自分が地図上のどの点に位置するのか特定すること」や③の「自分というものを遠くから客観的にながめること」は「空間的マッピング」の方ですから、対比混乱の誤りです。①は、前半の「自分の来し方を思い」が時間的・歴史的マッピングですが、後半の「視点を仮設し自分を見下ろすこと」が「空間的なマッピング」です。この選択肢自体が対比混乱の誤りです。

では、④の「自分がどうすれば消え去ることになるか考えること」はどうでしょう。「時間的マッピング」のグループです。しかし、「自分の家庭や会社や共同体、その網目のどこに自分がいて、どのような機能を果たしているのか。どういう要素の複合効果として自分は出現してきたのか。条件がどういうふうに変われば自分は『消え去る』のか」という具体例のそのまた一部

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

です。選択肢選びにおいて、具体例は一段落ちるということから、正答として選びません。

問４《傍線部説明・選択肢》

傍線部Ｄの次の段落冒頭に「自分たちの生きている社会の成り立ちを『勉強』することによって、ある世代、ある地域集団の全体にのしかかっている『大気圧』を認識できた人間だけが、それを控除した後になお残っているものを、自分の『個性』として認知できるのです」とあります。この「控除」が差し引く、除外するという意味で「消去法」に当たるものです。では、何を「控除＝消去」するのかというと「ある世代、ある地域集団の全体にのしかかっている『大気圧』」です。「自分の記憶の中にある偽造され外部から『事後的に』注入された部分を選り出し、除去してゆく」ともあります。「大気圧」の言い換えはこれよりあとの表現だと「世代に固有の『正史』」「共同的記憶」「共同的な『模造記憶』」などがあります。したがって、①の「社会からの圧力を意識し、それを控除すること」が正解です。

他の選択肢をチェックします。②の「社会の中で自分の存在が不要になる瞬間を知ること」は笑えます。つくられた「共同的記憶」を「消去・控除・除去」して残ったものが「個性」と呼べるものなのですが、何も残らず、「自分の存在」も「不要」と思ってしまったわけですね。記述に反する誤りです。③の「他人との比較の中で自分の個性を浮かびあがらせる」や、④の「自分と世界との関係を構築し直す」では「消去法」になりませんね。記述に反する誤りです。周りの共同体にもどるという点では、対比混乱の誤りです。⑤の「歴史の中から自分と無関係の事実を消していく」はどうでしょう。正しくは「自分の記憶」の洗い出しですからね。「歴史」ではありません。ナポレオン＝ボナパルトやジョルジュ＝ジャック＝ダントンやマキシミリアン＝ロベスピエールやハンス＝アクセル＝フォン＝フェルゼンは、「自分と無関係」だからと消去されては困ります。はい、記述に反する誤りです。さらに消去するのは「自分と無関係の事実」ではなく、共通の「共同的記憶」です。

問５《傍線部説明・選択肢》

「住民登録」は、偽造された「記憶の共同体」に「オレ」を登録することですから、敵役キーワードですよ。①の「偽りの記憶を正確なものにする」は、「偽り⟷正確」が正しい対比喪失の誤りです。多くの人は、つくられた「模造記憶」をそうと認識せ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ずに「内面化（自分のものとして心に吸収すること）」しています。〝不正確なものを正確に〟しようとしているわけではありません。また、本文中の「偽りの記憶」とはつくられた「模造記憶」という意味です。この点では、文脈喪失の誤りです。

③は「どの世代にも共通する」が×です。正しくは「ある世代、ある地域集団」です。不当な全称判断です。本文に「すべての世代はその世代に固有の『正史』を持っています」とありますが、全世代共通のものがドカンと一つあるというのではなく、どの世代にもそれぞれの「正史（つくられたものなのに共有していると信じられている記憶のこと）」があると言っているのです。

④の「メディアによってつくられた現象を誇張する」はどうでしょうか。メディアがつくったテレビ番組について、かつて見ていた頻度を「誇張」するという表現は本文中にありますが、「メディアによってつくられた現象を」ということではありません。また、「メディアでは人々が『個性的に』ということを実にお気楽に口にしています」という表現が本文にはありますが、やはり「誇張」の対象ではありません。したがって、記述に反する誤りです。

⑤の「共有された記憶から個性的な記憶を模造する」は、なんだかヘンな記述ですね。「共有された記憶」自体が「模造記憶」なのですから。記述に反する誤りということになります。また、「個性的（「ほんとうに個性的」の方）」と混ぜている点では、対比混乱の誤りです。こういうわけで、②の「『オレたち』という幻想の中に紛れ込むこと」が正解です。

問６《傍線部説明・選択肢》

「ほんとうに個性的な人間」は筆者側のキーワードです。さて、①の「一人で徹底的に考え抜く人間」では、「マッピング」が脱落しています。記述に反する誤り、対比混乱の誤りです。②は「マッピング」に触れていますが、「空間的マッピング」か「時間的」「歴史的」マッピングか明らかではなく十分ではありません。あえて言うと対比相手が混じる可能性がありますから、対比混乱の誤りとなりえ、その点で不十分です。③の「誰からも理解されなくても自分を貫く人間」は、どうか。「誰からも理解されなくても」は、ＯＫです。共同的な模造記憶に埋没しないためには、大事です。しかし、「自分を貫く人間」は×です。本文には、「今の自分のものの見方や考え方を絶対視する人とは、要するに『マッピング』する知的習慣を持っていない人のことです」とありますからね。記述に反する誤りと言っても対比混乱の誤りと呼んでもよいです。

では、④か⑤か。こうした悩ましい選択肢を用意している点が難関大の特徴とも言えます。④の「自分がどのように形成され

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

てきたか意識できる人間」は、歴史的マッピングで、筆者の見解です。しかし、これは前半の内容です。「共同的記憶」「模造記憶」「偽造された共同的記憶」への批判や乗り越えを語った後半とピッタリ合致するとは言えません。また、自分や自分たちの同世代がどんな歴史的な形成のされ方をしたのかを考えるとともに、その上で「共同的記憶」を除去することが大事ですから、「自分がどのように形成されてきたか意識できる人間」は、全然間違いではありませんが、部分的指摘の誤りということで選びたくないわけです。「個性的であるというのは、『記憶の共同体』への住民登録を求めないということです」と傍点をつけて筆者が強調しているように⑤の「共同的記憶を振り払える人間」が正解です。

模範解答

問1＝②　問2＝簡単ではない知的営みだから。（十四字）

問3＝⑤　問4＝①　問5＝②　問6＝⑤

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第五講

（ア）③　（イ）③　（ウ）⑤　（エ）②　（オ）⑤
（カ）④　（キ）②　（ク）④　（ケ）③　（コ）①

解答漢字一覧

（ア）遊離　（イ）控除　（ウ）覚悟　（エ）偽造　（オ）採用
（カ）模造　（キ）固有　（ク）宴会　（ケ）誇張　（コ）登録

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。